

〔^{しよりしせつ}ごみ処理施設(クリーンセンター^{きぬうら}衣浦)^{しせつ}〕について

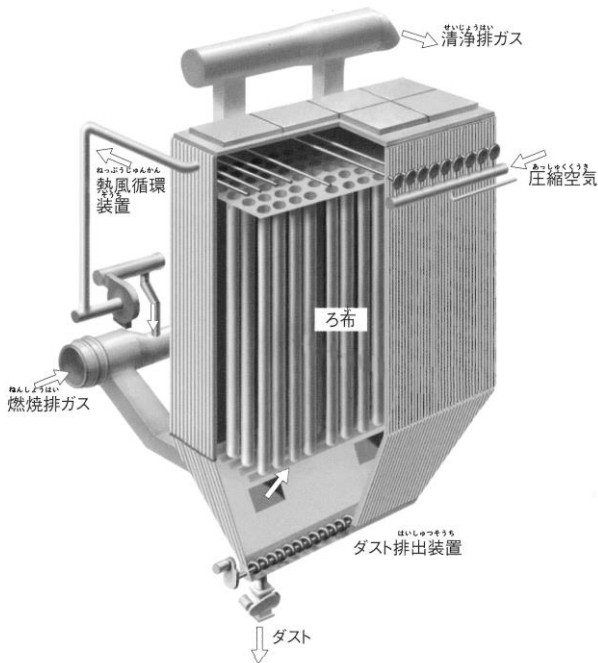
1. ^{きぬうら}クリーンセンター衣浦はどのような^{しせつ}施設ですか？



^{きぬうら}クリーンセンター衣浦は、家庭などから出る燃える^もごみ、燃えない^もごみ、粗大^{そだい}ごみなど、^{さまざま}様々な^{しよぶん}ごみを^{しせつ}処分している施設です。

以前、燃える^もごみは、碧南市と高浜市がおの^もおの持つ小さな^{しょうきやくじょう}焼却場^もで燃や^もし、燃えない^もごみは、地面に穴をほ^うってそのまま埋めて^もいましたが、昭和42年度に1日で50トンのごみを燃やすことが^もできる^{しょうきやくしせつ}ごみ焼却施設を、昭和53年度に1日で40トンのごみを^{しよぶん}処分できる^{はさいしせつ}破碎施設^{けんせつ}を建設しました。その後、人口が^{ぞうか}増加し、発生する^{しせつ}ごみの量が増えてきたことや、施設が古^{しせつ}くなってきたことから、平成7年10月に、1日で190トンの燃える^{しよぶん}ごみを処分できる^{しよぶん}**ごみ焼却施設**と、燃えない^もごみや粗大^{そだい}ごみを処分できる^{そだい}**粗大ごみ処理施設**^{しよりしせつ}を^{けんせつ}建設しました。

ごみは燃やした後、灰と排ガスになります。灰は最終処分場で埋め立てます。排ガスは、約200℃に冷やし、**バグフィルタ**を通して小さなごみや有害な物質を取りのぞいたあと、高さ59mの煙突から外へ出ていきます。



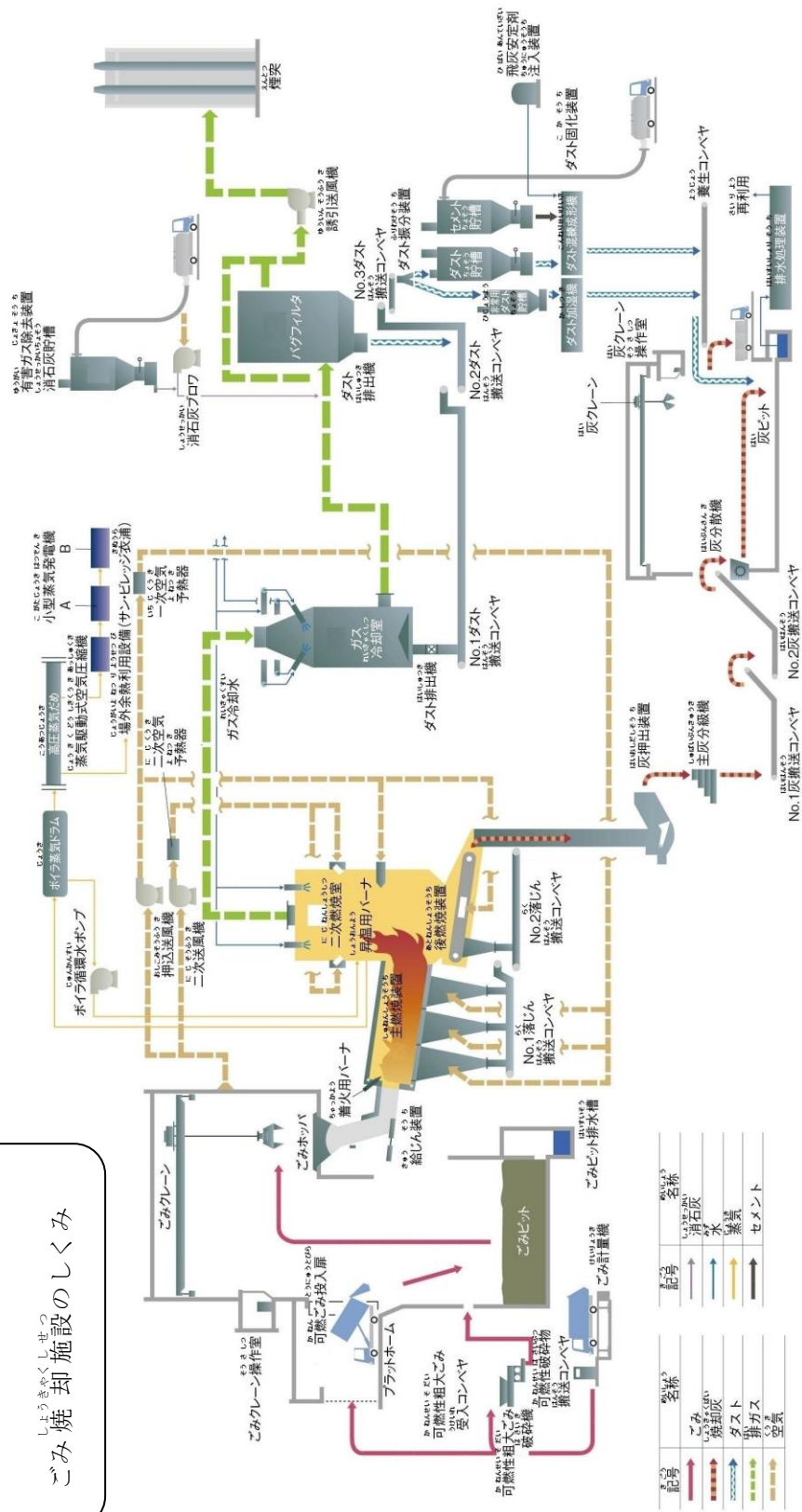
バグフィルタ

排ガスをきれいにする布製のフィルターです。

長さ5.5m、直径15.5cmで、1つの焼却炉につき392本使われています。

また、ごみを燃やすと熱が出ます。この熱を利用し、発電機で電気を作ったり、クリーンセンター衣浦施設内のお湯や冷暖房、サン・ビレッジ衣浦のお風呂とプールで利用しています。

クリーンセンター衣浦
 ぎぬうら
 しょうきやくしせつ
 ごみ焼却施設のしくみ



記号	名称	記号	名称
→	ごみ	→	消石灰
→	焼却灰	→	水
→	ダスト	→	蒸気
→	排ガス	→	セメント
→	空気		

3. 粗大ごみ処理施設はどのようなしくみですか？

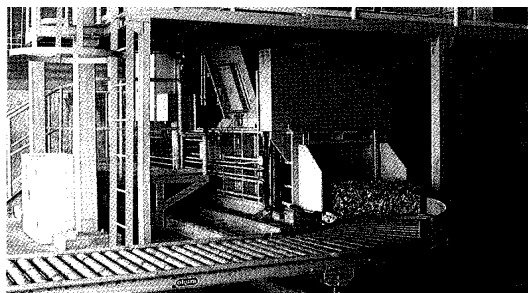
燃えないごみや粗大ごみは、粗大ごみ受入ホッパまたは不燃ごみピットに入れます。これらのごみは、危険物選別コンベヤに送り、危険なものが混ざっていないかを手作業でチェックした後、破砕機で細かく砕いて、自動的に鉄、アルミ、燃えるごみ、燃えないごみの4種類に分けます。

鉄とアルミは、資源としてリサイクル工場へ運ばれ、また、燃えるごみは、ごみピットへ送って燃やし、燃えないごみは、最終処分場へ運びます。



粗大ごみ受入ホッパ

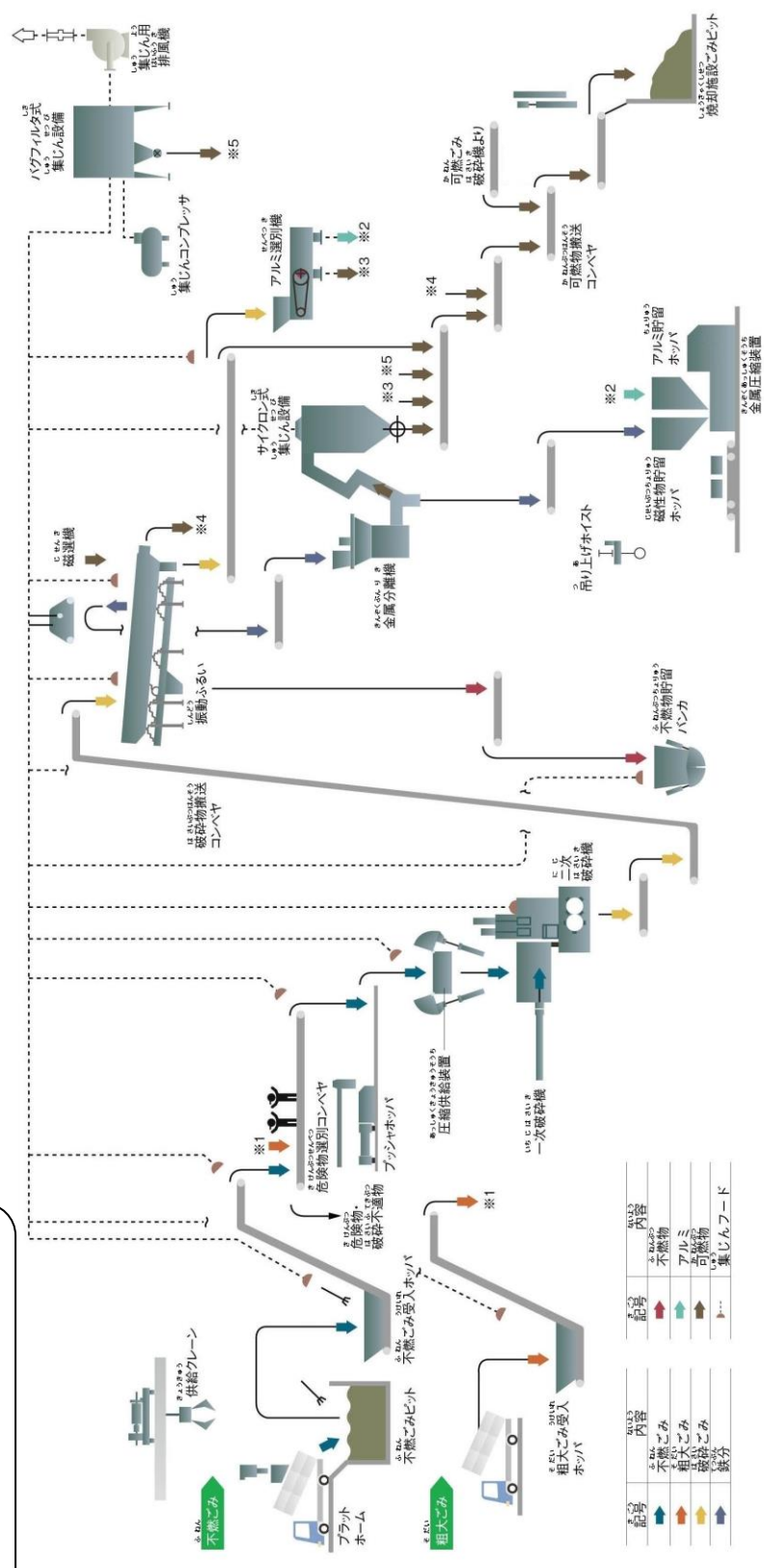
ストーブなどの粗大ごみを投入します。



金属圧縮装置

回収した鉄やアルミを圧縮し、運びやすい形にします。

クリーンセンター衣浦
 粗大ごみ処理施設のしくみ



記号	内容	記号	内容
▲	不燃ごみ	▲	不燃物
■	粗大ごみ	▲	アルミ
▲	破砕ごみ	▲	可燃物
▲	選分	▲	集じんフード

4. ごみを燃やす人は何人いますか、燃えないごみを処理する人は何人いますか？

(令和4年4月1日現在)^{げんざい}

ごみを燃やす人	燃えないごみを処理する人	計量室	計
22人	10人	2人	34人

5. 集めたごみは、どうなりますか？

碧南市・高浜市で集めた燃えるごみ・燃えないごみは、全てクリーンセンター衣浦へ運ばれ、処理されます。ただし、家庭から出るごみで分別収集された資源ごみは、それぞれ直接リサイクル工場へ運ばれ、資源として再利用されています。



6. ごみを燃やしても空や空気は汚れませんか？



ごみが完全に燃えてしまえば、排ガスは二酸化炭素と水蒸気になります。

しかし、燃え方が不完全であったり、ごみの中に入っている物によっては、空気を汚す心配があります。

そこで、クリーンセンター衣浦では、安全で衛生的にごみを燃やすとともに、煙突から出る排ガスをきれいにするバグフィルタや、有害なガスを取り除く装置によって、空や空気を汚さないようにしています。

7. ごみを燃やした後に出る灰は安全ですか？

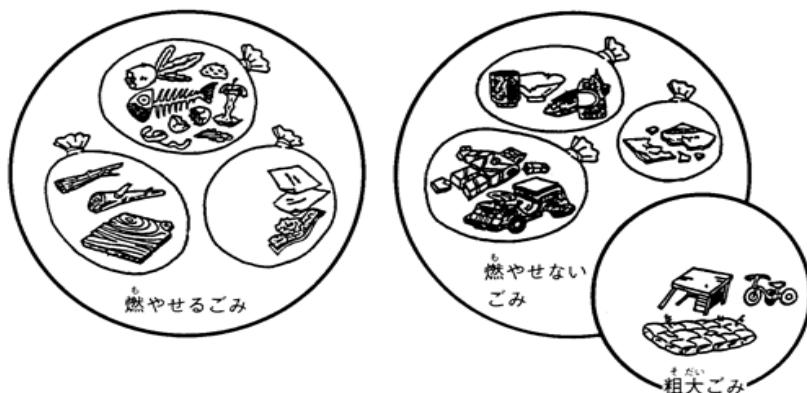
ごみは、燃やすと身体や環境に悪い「**ダイオキシン**」という化学物質が発生します。このダイオキシンの発生を抑えるために、ごみをごみピットでよく混ぜてから燃やしています。混ぜることで、燃える温度を安定させ、ダイオキシンの発生を抑えています。また、発生した**飛灰**（身体に悪い細かい灰）は、バグフィルタで取り除いています。

焼却灰や飛灰は、重金属固定剤によって身体や環境に悪いものが出ないようにしています。飛灰は、さらにセメントで固めて**固化灰**にし、最終処分場へ運んで埋め立てています。

クリーンセンター衣浦は、環境を守る安全な施設です



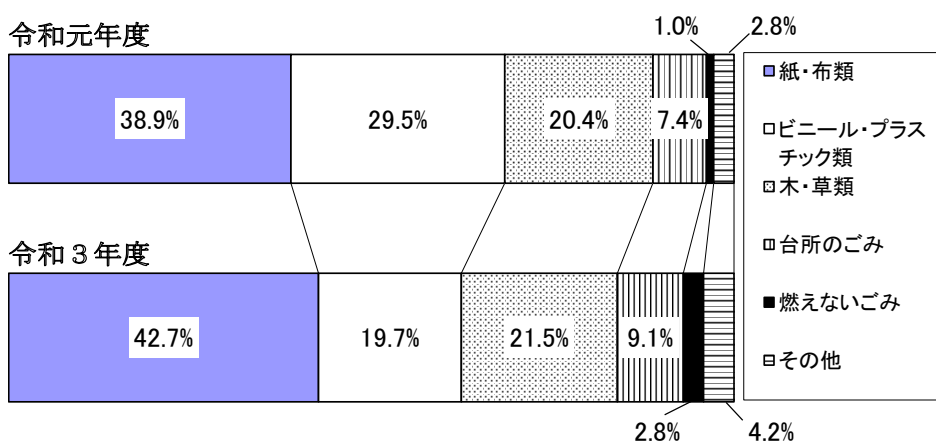
8. どんなごみが集まってきますか？



○燃えるごみ

燃えるごみには色々なものが混ざっていますが、1番多いのは紙・布類です。

令和元年度と令和3年度の燃えるごみの比較



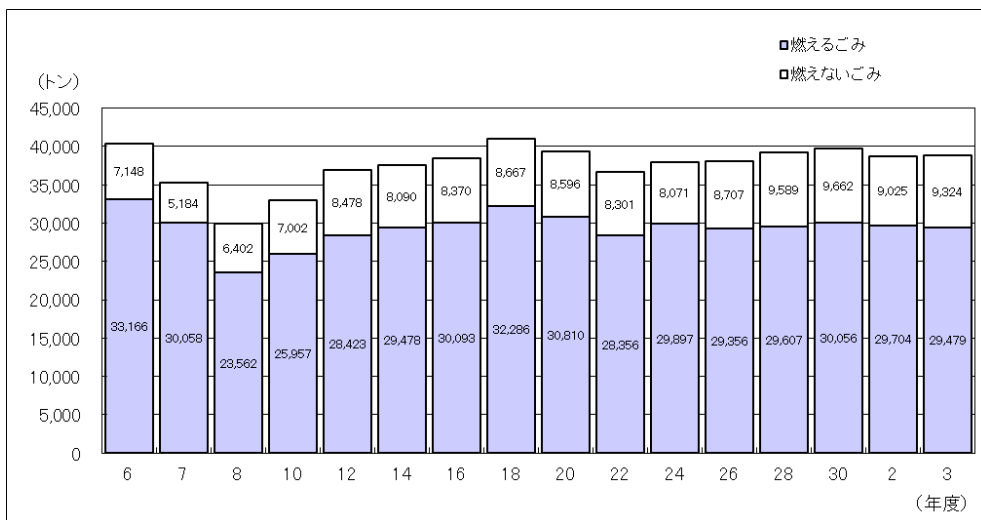
○燃えないごみ、粗大ごみ(大きなごみ)

家具、自転車、扇風機、掃除機、ラジオ、ストーブ、ふとん、カーペットなど。

9. ごみは1年間にどれくらい出ますか？

クリーンセンター衣浦^{きぬうら}では、運ばれてきたごみを全てごみ計量機^{けいりょうき}で計り、コンピュータに記録しています。

1年間に碧南市・高浜市^{へきなん たかはま}の家庭から出たごみの量



令和3年度に、碧南市・高浜市の家庭から出たごみの量は、

38,803トンです。毎日1人あたり**871g**のごみを出していることとなります。

《1人が1年間で出すごみの量》

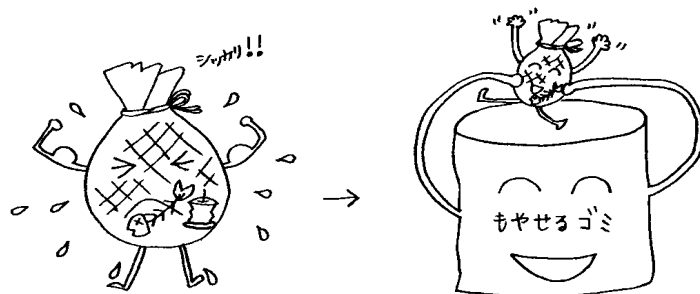
$$38,803 \text{ トン} \div 122,022 \text{ 人} = 0.318 \text{ トン} \quad (\mathbf{318kg})$$

《1人が1日でするごみの量》

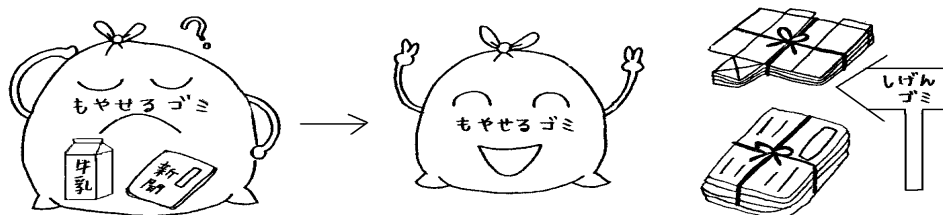
$$318 \text{ kg} \div 365 \text{ 日} = 0.871 \text{ kg} \quad (\mathbf{871g})$$



10. ごみの出し方というのはありますか？



生ごみ（台所のごみ）は、水をよく切ってから捨ててください。



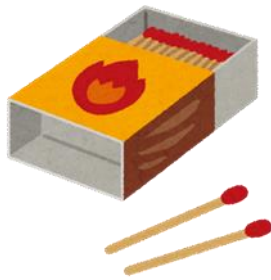
ごみは、きちんと分別して出してください。

時々、^も燃やせるごみの中に新聞紙や牛乳パックが入っている場合がありますが、これは紙としてもう一度生まれ変わることができる大切な資源^{しげん}です。できるだけ分別して出しましょう。

ごみが正しく捨てられていないと、働いている人がけがをしたり、機械が壊れたり、火災が起きたりして大変危険です。火災の原因となるものは、分けて持ってきてください。

火災の原因となるため、分けて持ってきてほしいもの

マッチ、ライター、花火、電子タバコ、モバイルバッテリー、
リチウムイオン電池、スプレー^{かん}缶やカセットボンベ、油の残っている^{かん}缶、
化粧品^{けしょうひん}のピン(除光液^{じょこうえき})など



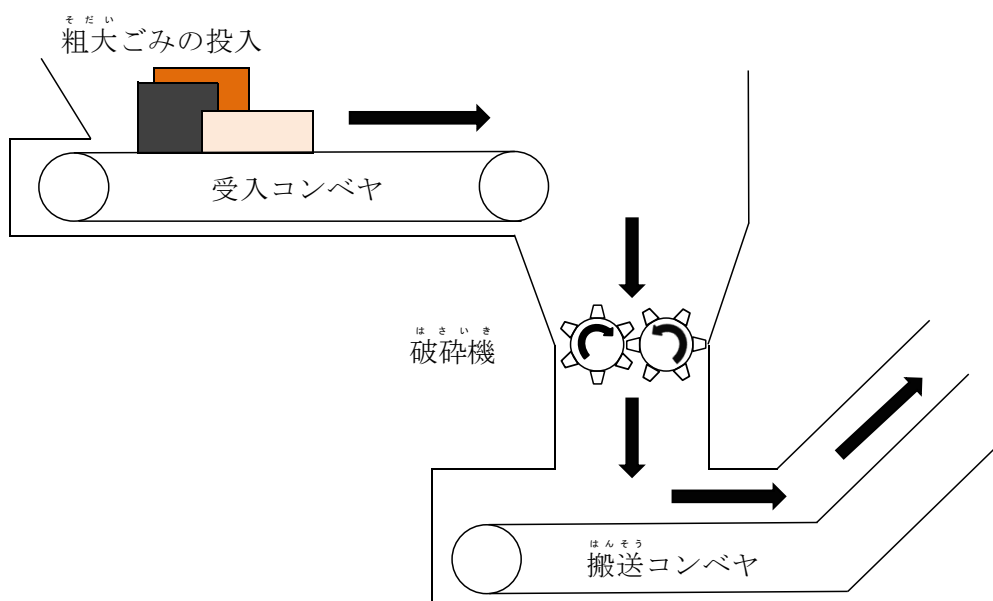
11. 粗大ごみは、どんなものでも持っていけますか？

粗大ごみは破砕機で細かくして処理してるので、だいたい物は持ち込めますが、物や状態によっては持ち込めないものがあります。

○木材、木の枝、竹

破砕機の入口の幅は1.2mしかなく、長いものを入れると、ここで詰まる恐れがあります。また、太い木材は、クリーンセンター衣浦の破砕機では細かくすることができません。

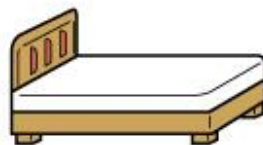
そのため木材は、長さが1mくらい、太さが12cmくらいまで。木の枝は、長さが1mくらい、太さが10cmくらいまで。竹は、長さが50cmくらいの大きさであればだいじょうぶです。



○スプリング(ばね)入りのマットレス

スプリング(ばね)入りマットレスは、そのままでは持ってくることはできません。

解体してスプリング(金属)と布やスポンジなどの燃やすことのできるごみに分ければ、持って来ることができます。



○机、たんす、下駄箱、本棚、食器棚等の家具

壊さずに、そのままの形で持って来ることができます。まだ使えるものは、リサイクルプラザで直して販売しています。

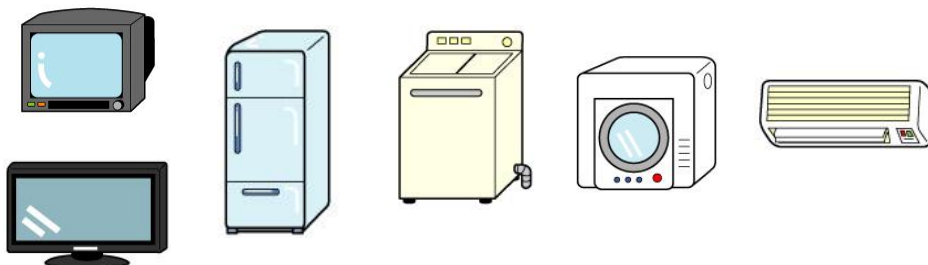


○カーペット、じゅうたん、たたみ

そのまま持って来ることができます。長いまま破砕機で処理することができるからです。

○テレビ、冷蔵庫(冷凍庫を含む)、洗濯機、衣類乾燥機、エアコン

法律で決められていて、クリーンセンター衣浦へは持込めません。電器店に引き取ってもらいましょう。

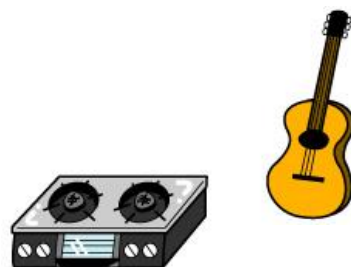


○その他の家電製品

テレビ、冷蔵庫（冷凍庫を含む）、洗濯機、衣類乾燥機、エアコン以外の家庭で使われている電化製品は、クリーンセンター衣浦へ持って来ることができます。ただし、ファンヒーターや石油ストーブは、油を完全に抜いてから、持って来てください。

○ガスコンロ等のガス器具、ギター等の楽器

そのまま持って来ることができます。



○自転車

そのまま持って来ることができます。

まだ使えるものは、隣のリサイクルプラザで直して販売しています。



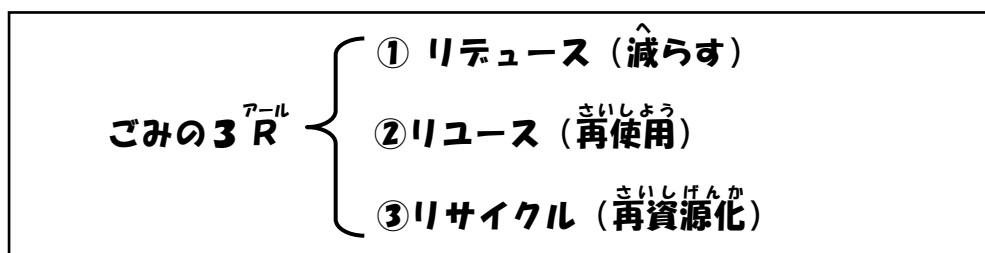
○その他(自動車、オートバイ、農機具、プロパンガスのボンベ、消火器、発煙筒、ピアノ、タイヤ、バッテリー、塗料・シンナー、オイル・灯油、花火、アルミ粉末、ボウリング球、耐火金庫、注射針・医薬品など)

これらのごみは、持って来ることができません。クリーンセンター衣浦では処理できないからです。



12. ごみを減らす方法がありますか？

わたしたちが生活していくうえで、どうしてもごみは発生してしまいます。しかし、そのごみも、減らすことはできます。



① ごみになるものは最初から求めない。(リデュース)

必要な物を必要な分だけ買うようにしましょう。

② 捨てないで、もう一度使う(リユース)

おもちゃなど、まだ使える物でもいなくなる場合がありますが、捨てないでほかの人に使ってもらえば、もう一度よみがえります。物は大切に長く使いましょう。また、衣浦衛生組合のリサイクルプラザには、リサイクルショップや情報コーナーなどがありますので、これを利用するのも、ひとつの方法です。(P23参照)

③ 資源回収や分別ごみとして出す。(リサイクル)

アルミ缶、スチール缶、ビン、紙などを分別ごみとして出せば、資源として再利用され、ごみを減らすことができます。

13. クリーンセンター^{きぬうら}衣浦で、ごみを^{しより}処理するのに年間どのくらいお金がかかりますか？



クリーンセンター^{きぬうら}衣浦で、ごみを^{しより}処理するには大変なお金がかかります。

令和3年度にクリーンセンター^{きぬうら}衣浦で^{しより}処理したごみの量は、
46,546トンです。

このごみを^{しより}処理するのにかかったお金は、
11億2,379万円です。

1トンのごみを^{しより}処理するのにかかったお金は、

11億2,379万円÷46,546トン＝**24,144円**です。

また、1人あたりにすると（令和3年度人口122,022人）、

11億2,379万円÷122,022人＝**9,210円**となります。